

RUDOLF STEINER

Eurythmie als sichtbarer Gesang

ルドルフ・シュタイナーにより創始されたオイリュトミー……

その始まり・原点にあるものを本書は明らかにする。

“見える歌としてのオイリュトミー”が顕わすもの、
そして音楽の秘められた本質がそのヴェールを少しずつ緩めていく
シュタイナー最晩年の1924年2月に行われた、
オイリュトミストのための8回に亘る連続講義、
その全容に可能な限り近寄るために
シュタイナーによる「覚え書き」及び「講義ノート」
さらに口絵として、講義の際に描かれた「黒板画」を収録する。
音楽を愛し真に解するためにも必読の書。本邦初訳※。

※本書は松山由紀訳/スタジオ・ルラにより出版された私家版に全面的な改訂が加えられた新訳版

見える歌としてのオイリュトミー

—— 音楽のオイリュトミー講義 ルドルフ・シュタイナー 松山由紀 訳

最初に、音楽のオイリュトミーとオイリュトミー全般の内面化のために、ひとつの刺激があるべきです。……………私たちは、今はまだ始まりであるものを次第に先へと導いていくことができるのです。

*

音楽は、言葉において意味となっているものを表現するのではなく、音の動きそのものの中にある霊的なものを表現します。そしてそれ故、音の動きが真の意味で極めて内的に表現しているもの、そのようなものに特別注意を向けるということが、オイリュトミストにとってとりわけ重要になるのです。

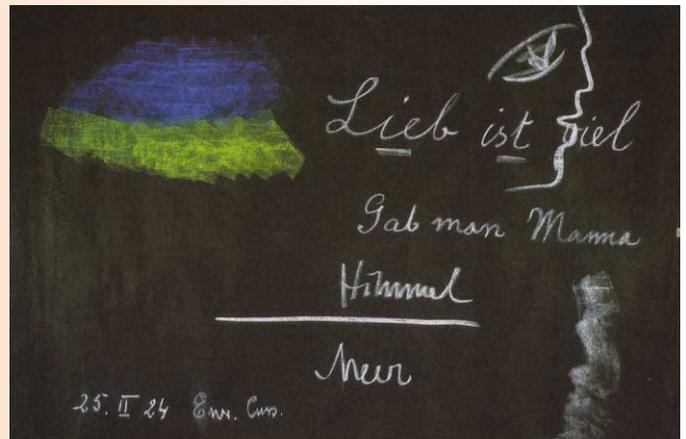
……………作曲家は決して意図なくして不協和音を使ったりはしません。また不協和音のない音楽は内的に動くものがないことになりますから、本当のところ音楽ではありません。不協和音と協和音で体験されることの中に、言葉で言い表せる以上に、宇宙の神秘に歩み寄っていくものが姿を現わしてくるのです。

(本書講義録よりの抜粋)

ルドルフ・シュタイナー
Rudolf Steiner, 1861~1925

オーストリアに生まれた。自らの思想をアントロポゾフィー(人智学)と名づけ、その思想は科学、芸術、教育、宗教、医療、農業などあらゆる分野で具体的実践となり多くの業績を残した。芸術においては1910年に自ら創作した最初の神秘劇が上演され、オイリュトミーと言語造形がほぼ同時期に生まれている。その後半生、マリー・シュタイナーとともにオイリュトミーの発展に大変力を注いだ。

A5フランス装
口絵12頁/本文192頁/付録64頁(予定)
ISBN978-4-903865-11-9 定価3800円+税
2009年2月 刊行



シュタイナーによる黒板画

待望の増刊

「死ぬことと生きること」——キリスト者共同体は「死」とどう向き合うか——
小林直生著 *シュタイナーによる「死者への祈り」他も収録。

2008年12月刊行 ISBN978-4-903865-01-0 改装版第3刷 定価1200円+税

「人間聖化式の体験について」——キリストとの新たな出会いをもとめて——

ハンス=ヴェルナー・シュレーダー著 興石祥三訳

2009年1月刊行 ISBN978-4-903865-14-0 改訂新装版 定価1000円+税

涼風書林

Verlag Frischer Wind A.G.